

# かわいふあ〜む

dayori

川合 浩平

本年もありがとうございました！！

という、そんな年の瀬・・・。  
この前 12 月になったと思ったばかりなのに、早いですね。

今年もいろいろありましたよね。  
「災」という文字に決まったようですが、本当にまったくですね。  
天候がかなり極端で、日本だけではなく世界中で異常気象が観測された 1 年でした。  
独断と偏見の振り返りで、ちょっと考えただけでも、福井県の豪雪による車の立ち往生  
西日本豪雨  
スーパーボランティア尾畠春夫さん  
←ほんとも一、めちゃくちゃリスペクト！  
北海道地震&ブラックアウト  
南平岸ガス爆発

良い事もりましたが、相殺しても天災・人災が目につきました。

天災に関しては、洪水・地震・雨・乾燥・高温・低温・日照不足など観測史上初めてとか、何十年振りとかの文言がとて多かった気がします。

人災では泊原発の非常電源の件は不思議な事ばかりで点検時に触って端子が取れたなら、見ながら触ってないのか？とってしまいました。

また、ガス缶の処理をしているの爆発だったらしいですが、あの爆発で死者が出なかった事は不幸中の幸いという他にありません。

最近では本人は悪気が無くてもやっている事が傍から見るとちょっとズレている事が多く、それが想定外の人災というか、トレンドみたいな気がします。



そして、シカにやられたかわいふあ〜むの大根・・・。

自分で悪い事をやっていないという意識はとても厄介ですが、人間関係の希薄化から一般常識や意識・知識の共有が難しくなっている気がします。

ちなみに、自分はバイク乗りはじめの学生時代、くわえタバコでバイクを整備したら先輩に怒られました。それはとても大事な事でした。笑  
その頃は無知ゆえにガソリンの揮発する危険性を認識していなかったの、言ってもらってなかったら周りの人を巻き込んで爆発していたかもしれません。

最近の出来事からそんな甘酸っぱい思い出と、自由の裏側にある行動に対しての責任を改めて考えたのでした。

農園だよりなんです、  
脱線してしまった・・・  
笑

さて、ワタクシは例年通り、12月に見事に体調を崩しまして、今年も1年の疲れを翌年に持ち越さない事に成功しました。そして来年は、ついに本厄らしいので、気をつけねばなりません。厄払いに行かないと・・・  
というか、もう大掃除の時期ですね。  
ゴミもたくさん捨てる時期になってきました。

あ、ゴミといえば実は9月のお便りに書こうと思っていた「ゴミ問題」  
地震の事を書いたために、没原稿になってしまいましたが、実は以下の文章を書いてありました。ちょっと情報が古いかもしれませんが、目を通していただければと思います。



皆さん、ちょっと周りを見わたしてください。  
もしくは街中の風景を思い出してみてください。

30年後、まだ使っているものってどれだけありますか？

家の中にいるとしたら、その住んでらっしゃる建物は30年後も使えますか？

椅子に座っているとして、その椅子は30年後も使っていますか？

机、テレビ、等の家具は30年後も使えますか？  
窓から見える建物、橋、電柱などは30年後も使えているのでしょうか？

そう、30年も経つと大半のものがゴミになります。この目に入る莫大なゴミの量が、30年後も今と同じように処理されているのでしょうか？

か？

日本人はモノを大切にしなくなったので、使い捨てる文化が異常に繁栄しています。

人口が減る分、その人たちの持ち物だったゴミもこれから相対的に増えていきます。

なのにどんどん物価の安いアジアから、早ければ一回使ったらゴミになれるモノを輸入し続けているのです。人口が減っている今、極論を言うと大抵のものは壊れない限り、総量は現在国内にある数で足りるはずですが。

例えば誰かが持ってるいらなくなった使えるハサミを、ハサミが欲しい人に渡せば、新たに輸入するのは壊れる

分だけで足りるのです。

上記の例は極論かもしれませんが、今国内にあるゴミも処理できないのに、まだ輸入を続ける必要があるのでしょうか？

少し直せば使えるもしくはまだ使えるモノを、汚れたから調子悪いからと捨て続ける文化が正常とは思えません。



まあ、30年後は自分も家族からゴミ扱いされて捨てられる寸前かもしれませんので、気をつけねば・・・笑

以前書いたかも知れませんが、自分が農業へ進もうと考えるきっかけになった「ゴミ」問題。

仕事で作っているものが「ゴミ」に見えてしまい、世の中のためになる「自分しか作れないもの」を作りたくなり、「農業」に目を向けた過去があります。

先日、中国が「廃プラ」の受け入れをやめたので、日本から輸出できなくなったのを初めて知りました。

恥ずかしながら、プラスチックのリサイクルは国内で循環している

と思っていたので、驚きました。

たぶん大半の人は知らなかったと思うのですが、そのリサイクルは幻で、ゴミは分別してゴミ箱に入れて終わりではありませんでした。

汚れているプラスチックの場合の大半は輸出され、海外で低賃金で選別をしてリサイクルされるか、燃料として燃やされます。

低賃金で選別する人たちの中には、ゴミの中の劣悪な環境で子供たちが生活をしながら選別をしている場合も多いのです。

自分たちの身の回りで使われるプラスチックの50%は使い捨てとされています。

プラスチック本体を使う商品の場合にはいいと思いますが、パッケージなどは商品を守るためだけにしか使われません。

さらにひどいのが、自分も良く買うコンビニのコーヒープラスチックのフタなどで、15分しか使わないのに100年後も残ります。

便利だとは言え、外側の商品じゃない部分がとてもとてもとてもオーバースペックで、商品の寿命を考えたときのバランスが取れません。

なんでもプラスチックではなく、商品の中身に



合った環境に優しい材料にしてほしいと思います。

もしくは逆転の発想で、全部リサイクルしやすいプラスチックにして、分別しにくい紙とプラスチックの混合したパッケージとかをやめてみてはいかがでしょうか？

あとはスウェーデンみたいに大きくていつでも出せる分別ゴミBOXがあれば、もっとリサイクルのために分別する人も増えると思うのですが・・・

ちなみにかわいふあ〜むのお客様たちは、比較的プラスチックの袋に入れることを良しとしない方が多いので、とても嬉しいです。が、キャベツとジャガイモを一緒に入れることにはちょっと抵抗があったりする

ワタクシです・・・

↑という事を書いてました。

最近流行っていた断捨離も、ミクロ的にみると身近にゴミはなくなるのですが、マクロ的にみるとゴミが増え、日本国内ではモノの総量は変わらないという構図です。

ちなみに、最近の車のエンジンの熱効率も上がってきていて火力発電所に近づいてきており、エンジンがもう少し効率が良くなると、発電所と変わらない効率になってしまいます。

そのため、発電所の電気を使うプラグインハイブリット車はバッテリーやモーターなどの複雑な構造を持つため、製造時の環境負荷を考えるとどっちが環境にやさしい？という話が本格的に出てくるかもしれません。

エアコンも、ひと昔と違って最新のものは電熱線のヒーターより省エネだったり、技術が上がると見方と常識が変わるので常にアンテナを張って考えるようにしないとイケませんね。

やばい！

農園だよりだというのにまた脱線を・・・笑  
しかし最新のニュースによると、ついに EU はス  
トローや食器など 10 種の使  
い捨てプラスチック製品を  
2021 年までに廃止すること  
で合意したそうです。ビバで  
すよビバ！

さて、今年の振り返りですが、  
畑はやっと少し形になってき  
たというところです。

やっと、ゴミの片づけやハウ  
ス建て等の農業以外に使う時  
間が減ってきましたが、まだ  
もう少しかかりそうです。

農業以外の作業がひと段落す  
る事が出来ると、農作業だけ  
に集中できる時間が増えます。

それと同時に野菜の売り先も少しづつ増やしてい  
かないといけないのです。

どうも目の前の作業を優先すると販売の方がおろ  
そかになりがちで、相変わらず一人の難さを感じ  
ています。

去年の反省と同様なのですが、来年こそはもう少し  
色々発信していきたいと思っています。

最後になりましたが、今年 1 年もありがとうございました。

先月の顧問のお便りにも書いて頂きましたが、小  
別沢のかわいふあ〜むの傾斜地では機械化  
はほぼできません。

マルチ張り、苗の定植、草取り、収穫・選  
別などはもちろん、今時の農家では機械が  
当たりの作業の大半が手作業になります。  
その為、どうしても手作業が多く作業時間  
がかかるうえ、少量多品種の為に 1 種類の  
作物に対する農作業が細分化されるので手



間もかなり増えます。

かかっている原価を考えると、専用の農機で専業  
で作っている農家の方々と同じ金額では到底出荷  
出来ないのが現状です。

機械化・大型化・効率化の今時の農業で  
はない、やり方は昔ながらの全て手作業  
の手作り野菜なのです・・・。

昔ながらの非効率な手作業主体の農業を、  
なんとか時間と身体をやりくりしながら  
手作業を効率的にこなしているです。

現状は時給に換算すると、農業をやらな  
い方でコンビニでアルバイトでもした方  
がいいレベルです。

そんなポッキリ折れそうな心を、今年も  
ボランティアに来て頂いた皆様や野菜を  
食べてもらっているお客様に大いに助け  
られました。

こんな非効率なやり方でも、一緒に手伝っ  
てもらったり、野菜を買ってもらって「おいしい  
よ」と言ってもらえるから、まだ続けられます。  
この場を借りて、心から御礼申し上げます。  
今年も野菜をお買い上げいただきましてありがと  
うございました。

来年も倒れる寸前まで頑張りたいと思いますの  
で、温かいまなざしを宜しくお願い致します！！！！

かわいふあ〜む 川合

